

1. 広域防災対策

計画規模を上回る洪水や整備途上段階に施設能力以上の洪水が発生した場合でも被害をできるだけ軽減するような整備を行う。

● 河川防災ステーション、水防拠点等の整備

災害時における水防活動や災害復旧の拠点として、水防作業ヤードや緊急用資材の備蓄・輸送基地としての機能に、災害情報の集配信機能などを併せ持つ河川防災ステーションを関係機関と連携して整備する。また、必要に応じ避難場所として活用できるよう整備する。

● 車両交換所の整備

迅速かつ効率的な河川巡視、水防活動を実施するため、水防資機材運搬車両等の運行に必要な方向転換場所(車両交換所)を計画的に整備する。

● 光ファイバー網等の整備

天塩川は長大河川であるため、広範囲にわたる水位・雨量・画像などの河川情報をリアルタイムに収集・監視を行うとともに、これらの情報を関係機関に迅速、的確に伝達し、水防活動や避難誘導に活用する必要がある。このため、観測設備、監視カメラ、光ファイバー網等を整備するとともに、遠隔操作等の河川管理業務の高度化を図る。